

# 事業概要【マイナンバーカードデジタルパスポート化事業】

実施地域	兵庫県養父市	事業費	300,000千円
実施主体	兵庫県養父市、株式会社日立製作所等	人口	22,389人
事業概要	中山間地域では高齢化および過疎化により、移動が困難となった市民の投票機会の向上を目的に、距離的・時間的な際をなくすため、オンライン投票選挙を行う。また、マイナンバーカードを市のサービスを円滑に受けるパスポートとし、避難所の入退管理、名簿管理を行い、令和4年度に導入したデータ連携基盤と連携し、各種サービスとの連携を図る。		

## 取組内容



### 避難所管理のデジタル化

避難所入退管理・避難所名簿作成のシステム化(「マイナンバーカード」または「養父市民ID」を活用)

避難所名簿情報についてデジタル化し、円滑に官民関係各署への連携を実現

問診票のシステム化・避難所名簿との情報連携の実現

### データ連携

全市民に官民サービスを利用するための「養父市民ID」を発行しそれを元に令和4年度導入済みのデータ連携基盤(令和3年度補正デジ田TYPE2交付金事業)と連携させる。

当市の高齢化率は、約39.5%となっており、選挙時に投票所までの移動が課題になっている。

マイナンバーカード申請率約96%となっている本市においては、選挙権を有する市民のほとんどがマイナンバーカードを所有している環境である。

マイナンバーカードによる本人確認を行っての、オンライン投票は、市民が所有する権利を保障するとともに、投票行為を行いやすくなる。

**養父市は、オンライン投票選挙が市民に提供できる最良のサービスと考えている。国家戦略特区を活用することで、本事業を成し遂げ、自治体を先導するファーストペンギンとなり、中山間地域の課題解決に取り組む。**

併せて、期日前投票宣誓のオンライン化も行う。

注釈)ファーストペンギン  
リスクを恐れず、誰もやったことのないチャレンジをする人